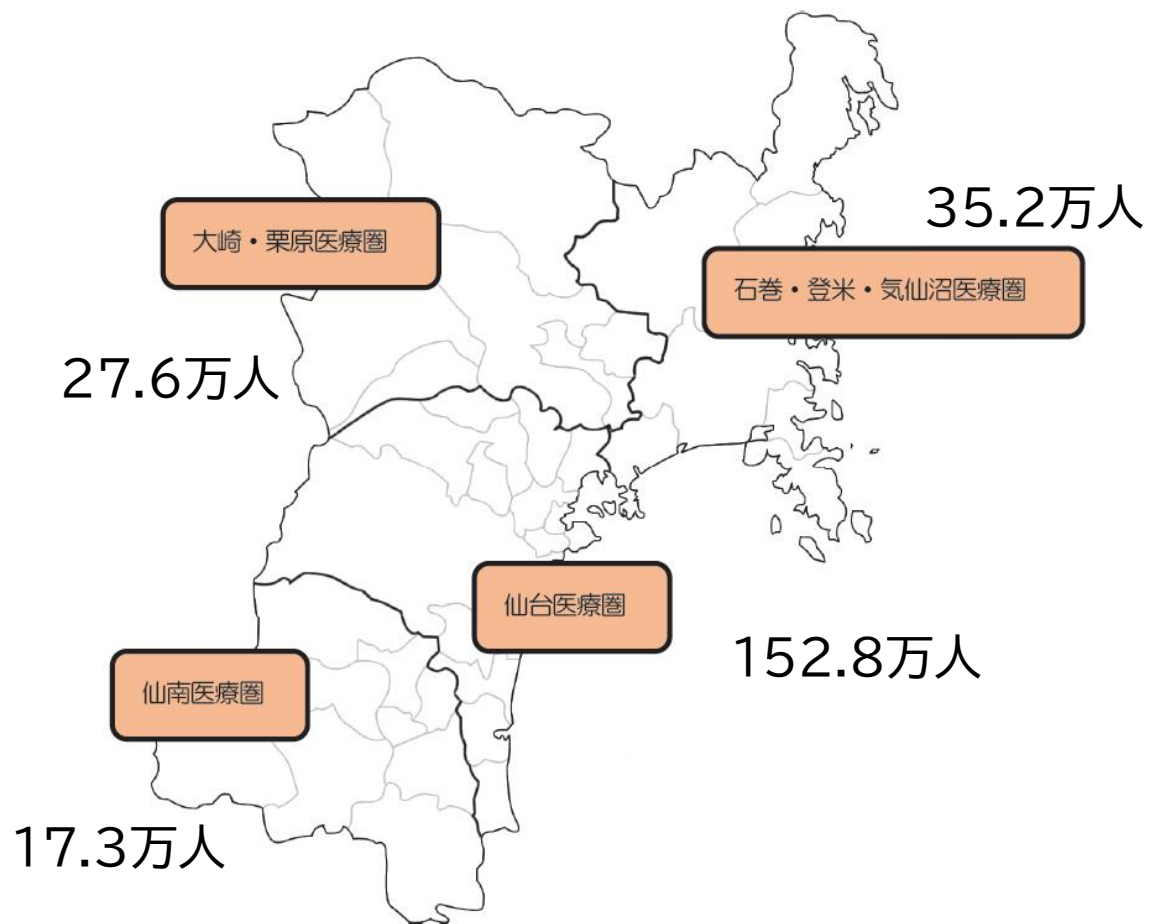


宮城県におけるCKD連携

宮城県代表 宮崎 真理子(東北大学)
同 地区幹事 杉浦 章(大崎市民病院)



- ・宮城県には腎臓専門医が約100名いるが仙台市に所属の専門医が約7割を占める
- ・慢性透析の原疾患における慢性糸球体腎炎が2011年以降第3位になっている

出典 宮城県のメタボリックシンドロームの状況
宮城県地域医療整備計画
日本透析医学会統計調査委員会 我が国の慢性透析療法の現況
人口 平成27年国勢調査

大崎・栗原医療圏での CKD連携のとりくみ

2/3 大崎地区学術講演会『CKDの地域医療連携の構築』アステラス

演者…室谷 嘉一(東北医科薬科大学)、杉浦 章

5/25 心腎連関フォーラム『CKD連携を考える』アストラゼネカ

演者…杉浦 章、清末有宏(森山記念病院 循内)

6/13 県北CKD医療連携セミナー 田辺三菱

演者…大津 明日美(永人会病院)、杉浦 章

*達内科 佐藤自伸先生座長

6/24 Kidney disease forum in Osaki 大塚製薬

演者…杉浦 章、田中 哲洋(東北大学病院)

8/25 CKD治療update ケレンディア発売記念講演会 バイエル

演者 田中哲洋

10/24 大崎地区チーム医療セミナー(薬剤師向け) 協和キリン

演者 杉浦 章 *ダイヤモンドプロジェクト

11/22 大崎エリアCKD連携講演会 協和キリン

演者 杉浦 章、矢部大介(岐阜大学 糖尿病代謝内分泌科)

12/13 大崎地区学術講演会 これからのCKD連携を考える アストラゼネカ

演者 杉浦 章

地区幹事 杉浦 章(大崎市民病院)

石巻医療圏の CKD対策 の報告

CKD講演会

地域のCKD診療の連携
を学会発表

P-220

石巻圏域における糖尿病性腎臓病の紹介時期や治療薬選択の変遷

石巻赤十字病院腎臓内科

中道 崇, 金 沙織, 小山 千佳, 山陰 周

【目的】石巻圏域は人口あたり透析患者数が県内最多で、導入原疾患は糖尿病性腎症が6割を超える。腎疾患対策検討会報告書や診療ガイドラインが策定・刊行された2018年度以降、地域における糖尿病性腎臓病（DKD）診療内容や紹介時期の変化がみられるかを明らかにする。【方法】2018年4月から2021年12月までに新規当科紹介受診したDKD症例の年齢、腎機能、尿蛋白量等の背景および前医での各糖尿病治療薬処方頻度を診療録より確認し、年度毎に比較した。【結果】4年間で新規受診した計325名のDKD患者の平均年齢69.6歳、男性70%、推算糸球体濾過量（eGFR）35.6 mL/min/1.73 m²、尿蛋白量2.4 g/gCr。年々紹介時eGFRは上昇した（31.6, 33.7, 36.6, 41.8 mL/min/1.73 m²）。経時的に α グルコシダーゼ阻害薬・グリニド薬（4年間で-9.6・4.5%）の処方頻度が低くなる一方、ピグアナイド・SGLT2阻害薬・GLP1受容体作動薬（+18.9・20.2・8.1%）が大幅にシェアを増やした。【結論】より早期の紹介や薬剤選択の変化は、診療ガイドラインや昨今の臨床試験の結果が徐々に浸透してきたことの反映と思われる。これら地域における診療実情を他医療機関との間で共有し、DKD診療の更なる質向上に努めたい。我々が早期に介入すればよりよい腎予後に結びついているのか、その評価を適切に行うことが今後の課題である。

仙台医療圏、仙南医療圏の取り組み

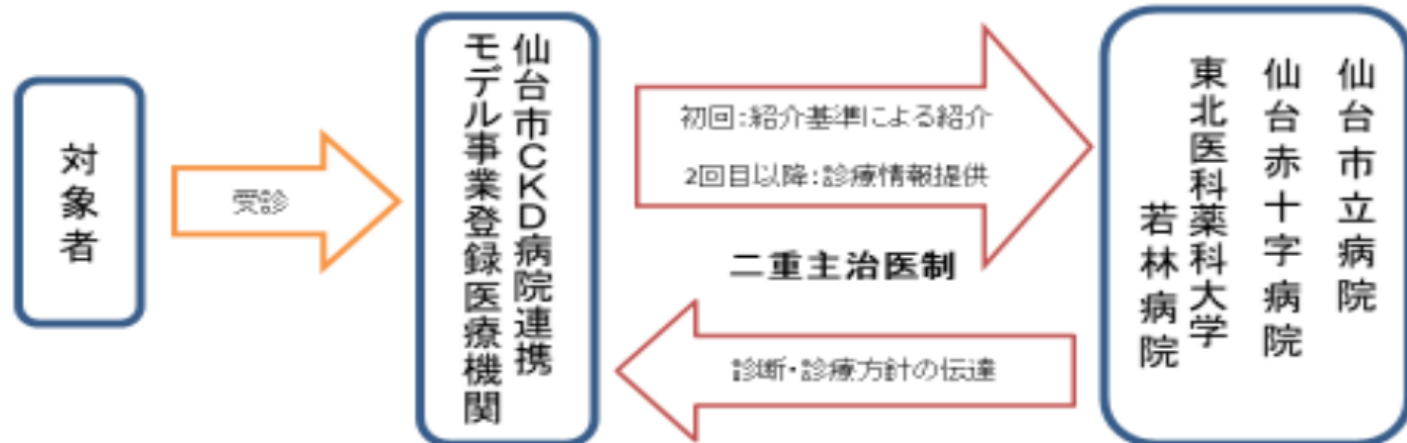
R4年4月、仙台市若林区・太白区でのCKD連携モデル事業をスタート

<https://www.city.sendai.jp/kenkosesaku-zoshin/kurashi/kenkotofukushi/kenkoiryo/ckd.html>

モデル事業の対象区は若林区と太白区です。

連携の流れ

49か所



R4年6月 仙台市青葉区CKD病診連携WEBセミナー

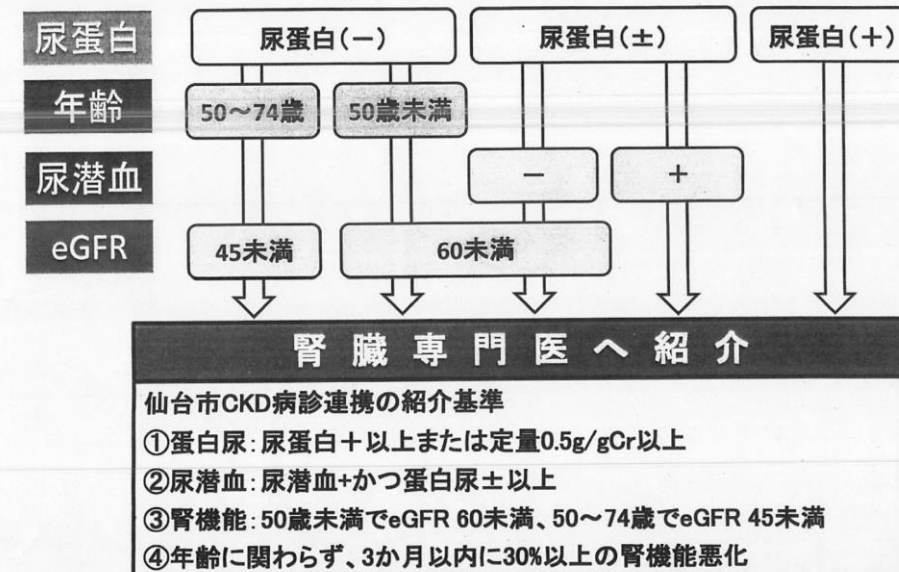
R4年7月 仙台南CKD病診連携講演会

R4年8月 仙南CKD連携懇話会

仙台市CKD病診連携紹介フロー

別紙3

※対象は75歳未満の方です。



仙台市CKD病診連携プロジェクトメンバー作成(2021)

今後力を入れたいかかりつけ医との連携における取り組み

- ・仙台市のCKD病診連携モデル事業の検証と発展
- ・腎臓専門医のいない地域のかかりつけ医との連携
- ・腎炎の早期発見の重要性の啓発を続け、全国一腎炎の予後がいい県を目指す
- ・宮城県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進を糖尿病医とともにおこなう
- ・医療機関と連携した保存的腎臓病治療もCKD対策の一つ